

関中学校だより



関中学校HPにアクセス

第6号
令和8年6月19日発行
亀山市立関中学校
文責：校長

《目指す学校像》

一人一人の生徒が生き生きと学び活動する学校

地域、家庭とともに歩む学校

教職員が生きがいを持って働ける学校

SKRA前線、継続中！



～ あいさつ運動の輪が広がってきました ～

「おはようございま～す！」「おはよう！」

毎週火・金曜日の朝、生徒会や委員会のみなさんが、生徒昇降口で「あいさつ運動」に取り組んでくれています。生徒会活動の柱「SKRA運動」のひとつ、「A」にあたります。

一緒に参加させてもらっていて、だんだんとあいさつ運動の輪が広がっていることを感じます。それは、

笑顔であいさつを返してくれる人が増えてきたからです。

新学期の最初は恥ずかしそうにしていた人が多かったのですが、取り組みを続けていくうちに、あいさつ運動に取り組むみなさんも、登校して来るみなさんも、柔らかな表情が増えたように感じます。なんだか元気が出ない日も、仲間の声に元気をもらった、という人もいるのではないのでしょうか。「おはようございます！」に加えて、温かいひと言を掛けてくれている姿も見られ、こちらも温かい気持ちになります。

桜の花が咲く季節はとうに過ぎ、やがて梅雨前線も消えていきますが、関中学校のみなさんの「SKRA前線」は消えることがありません。それどころか、少しずつ少しずつ、みなさんの心の中に温かい思いが咲いていきますね。

すばらしい取り組みを、ありがとう。これからも、その輪を広げていきましょう。

思いのこもった、私たちの大切な学び舎です。



現在の関中学校の校舎は、2011（平成23）年3月に竣工しました（体育館、特別教室棟は既存のまま）。関宿の町並みの特徴を生かした外観、木の温もりが感じられる校舎内。街道として表現された中庭や、丸太の柱が象徴的な多目的ホール、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した工夫の数々。来校された方々はどなたも「素晴らしいですね！」と驚かれます。

「こんなに素敵な校舎が建てられたのはなぜだろう？」と思い、校長室に保存されていた当時の資料を調べたところ、本当に多くの方々の思いがこめられていることに気づきました。

建築の基本コンセプトのひとつが「生徒たちが、ゆったりとした気持ちを持って、勉学に励み、また、将来において、学校そのものに誇りをもてる校舎」です。また、「中学生という大切な時期を過ごす場として、学校そのものが、感性を磨く場、





人間の五感を働かせて活動する場であること」とも書かれていました。これらを読んで、思わず「なるほど！」と膝を打ちました。

沢山の方々のご尽力によって建築された校舎は、第15回公共建築賞（国土交通大臣表彰）を受賞しています。受賞に際し、当時の校長先生は「ここで学び、未来に向けて旅立つ生徒たちには、人を愛し、母校を愛し、そして故郷を愛する心が育まれているものと信じてやみません。」と思いを寄せています。

つい、当たり前のように思っていたがちな校舎も、じつは、沢山の方々の思いがこもった、私たちの大切な“学び舎”なんですね。未来の関中学校生に「ここで学んで嬉しい！」と思ってもらえるよう、これからも大切に使用していきたいですね！



学校経営方針・行動計画が承認されました。

年度初めのこととなりますが、4月16日（木）に、今年度の第1回学校運営協議会が開催されました。校長より、今年度の学校経営方針および行動計画をご提案し、質疑・応答の後、承認していただきました。地域とともに歩む学校として、学校運営協議会での熟議を通して、学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」の実現に努めてまいります。詳しい内容については、過日tetoruで配信いたしました「シーエスセキチュー」をお読みください。

学校教育目標【長期目標】

「豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成」

〈めざす学校像〉【中期目標】

- 一人ひとりの生徒が生き生きと学び活動する学校
- 家庭、地域とともに歩む学校
- 教職員が生きがいを持って働ける学校

〈めざす生徒像〉

- 自ら挨拶・掃除・勉強をする生徒
- お互いの違いを認め合って、自分も人も大切にする生徒
- 仲間や地域のつながりを大切にしている生徒
- 自分の夢や目標に向かって粘り強く主体的に行動する生徒

〈めざす教師像〉

- 授業力の向上に努める教師
- 生徒の思いを大切にする教師
- 保護者や地域との連携を進める教師

【重点目標】

- 1 生き方教育の推進
- 2 生きてはたらく学力の向上
- 3 生徒の主体的活動による魅力ある学校づくりの推進
- 4 学校運営協議会を中心とした開かれた学校教育の推進
- 5 主体的・対話的で深い学びに向けた教職員の研修の充実
- 6 教育環境等整備の推進

※下線は校長によるもの